

ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ 〔2026年4月6日放送分 長町／笹谷街道〕

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱＝辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。

- 仙台城址の近辺～広瀬川を下る单元も、今回が最終回。広瀬橋のもと、長町側から歴史散歩スタートです。広瀬橋の架橋時期は、伊達政宗公晩年の若林城築城以降と考えられます。奥州街道が宮沢から、少し下流の広瀬橋での渡河に付け替わったのです。

今回歩く長町は、すでに河原町の史跡「丁切根(ちょうぎんね)」を出て、仙台城下の外側です。かつての、名取郡長町ということになります。

- 仙台城址の近辺～広瀬川を下る单元も、今回が最終回。広瀬橋のもと、長町側から歴史散歩スタートです。広瀬橋の架橋時期は、伊達政宗公晩年の若林城築城以降と考えられます。奥州街道が宮沢から、少し下流の広瀬橋での渡河に付け替わったのです。

今回歩く長町は、すでに河原町の史跡「丁切根(ちょうぎんね)」を出て、仙台城下の外側です。かつての、名取郡長町ということになります。

- 長町商店街を、たいはつくるのある長町駅方向へブラブラ。

広瀬橋のほうを振り返ると、キレイに一直線なんですよね。長町は人為的に作られた宿場町で、元々は広瀬川に近い根岸村とその南側の平岡村という2つの村でした。文字どおり、街道に沿った長い町だから長町なのです。ちなみに根岸村と平岡村、2つの村境は「坊ちゃん石罅」で知られる畑惣商店のある路地です。



- 長町商店街を南に歩いて、高層ビルの「たいはつくる」までもうすぐ。岩手銀行とミニストップの間を、西に入って行く路地。これが大変に重要で、ミニストップの前に、ちょうどガードレールと同じぐらいの高さの古い辻標が残されていました。

明治時代に立てられた物だそうで「笹谷道」と刻まれています。この路地が、山形までをつなぐ奥州街道の脇街道なのです。その経路は、県内では現在の国道286号線とほぼ重なります。我々が毎月訪ね歩いている昭和の辻標は、その笹谷街道を西に入り、長町小学校まで行ったところ。正門前に「長町／笹谷街道」と刻まれた辻標がありました。今回は、最後の最後で辻標の登場となったのでした。

〈文・佐々木淳吾〉